

科目名	単位数	実務経験を活かした教育の取組	心理	現代	国際
文化資源論	2	博物館・文書館での実務経験を活かした講義を行う。		○	○
NGO論	2	担当教員は、青年海外協力隊、NGO職員としてアフリカ（セネガル、ブルキナファソ、ジブチ、ザンビア、ケニア）での活動・駐在経験がある。また名古屋市内のまちづくりNPO職員として、地域づくりにも関わってきた。現在もフリーランスとしてまちづくり、地方創生事業に従事するほか、特定非営利活動法人（国際協力NGO）の理事を務めている。講義において教員の実務経験を適宜紹介していく。	○	○	○
現代社会と福祉1	2	ソーシャルワーカーとしての実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的な内容を含めて授業を展開します。	○	○	○
発展演習	2	学芸員の実務経験を活用した指導を行う。	○	○	○
比較教育学	2	高校非常勤講師（中国語、世界史、政治経済）の経験から、高校の状況についても議論する。	○	○	
保育原理	2	保育園・幼稚園の実務経験のあるものが、模擬保育の中でコメントを行います。模擬保育等の詳細については、授業内に別途指示致します。	○		
保育内容演習（人間関係）	2	幼稚園、保育所での実務経験のあるものの授業である。	○		
福祉心理学	2	児童相談所等の公的機関の常勤勤務経験のある教員が、実務経験から児童福祉分野・虐待問題・障がい問題等について詳しく講義し、実践的な心理支援について学べるようにしている。	○		
ICTプロジェクトB	1	・学芸員の実務経験を活用した授業を行う。			○
ICTプロジェクトD	2	・学芸員の実務経験を活用した授業を行う。			○
関係性論	2	多くの授業回で、現場を熟知する実務経験者、外部講師、ゲストスピーカーが講師となり、講義を行う。	○		
教育史	2	高校非常勤講師（中国語、世界史、政治経済）の経験を生かして高校教育についても授業をする	○	○	
教育方法論1	2	愛知県公立小学校教諭（学級担任・9年間） 愛知県公立中学校教諭（社会科・3年間）	○		
コミュニティワーク論	2	社会福祉協議会理事および地域福祉計画策定・推進委員等の社会福祉分野からの地域づくりに携わった経験も活用して講義を展開する		○	
公的扶助論	2	福祉行政での行政実務経験を踏まえた講義を行う。		○	
国際文化特講1	2	婚礼司会者、プライマルプロデュース会社経営を経て、現在、婚姻儀礼の民俗学的研究をすすめている教員が、「現代日本の婚姻儀礼」をテーマとした講義をおこなう。			○
子ども青少年支援論	2	不登校支援で活躍する団体のメンバーも、自分たちの活動を踏まえて学生に何が必要であるのかを伝えます。	○	○	○
子ども青少年支援演習	2	高校の非常勤講師の経験を活かして演習を行う。	○		
公認心理師の職責	2	臨床心理士・公認心理師として臨床実務経験のある教員が講義する。	○		
マスメッセージング論	2	報道の各分野の専門的な記者の方がたに講義していただきます。取材のしかた、記事を書き方、報道のあり方、報道の最前線の問題になっていることなどを、実務経験豊富な講師陣から学ぶことができます。			
マイノリティと共生	2	担当教員各々の専門領域における研究及び実務経験をいかした講義を実施する。	○	○	○
人間関係論	2	【担当者の実務経験】幼稚園教諭 現代社会における乳幼児の人間関係について理解を深める上で、特に元幼稚園教諭の立場から、実践現場に根差した子どもの関係構築のあり方や、子どもとの人間関係発達を支える保育者間の人間関係・保護者との人間関係などについて、実践者視点で深く理解できるよう授業を展開する。	○		
乳児保育1	2	保育所・子育て支援センターなどでの実務経験がある講師による授業である	○		
乳児保育2	1	保育所・子育て支援センターなどでの実務経験がある講師による授業である。	○		
音楽表現1	2	特定非営利活動法人リトミック研究センター養成校における、リトミック指導者養成の経験を生かした講義内容になっています。	○		
臨床心理学概論	2	臨床心理士・公認心理師の資格を持った教員が自身の心理臨床経験を踏まえて、理論と実践をつなげる教育を行う。	○		
老人福祉論	2	社会福祉士として施設での勤務経験を踏まえ授業を展開する。		○	
産業・組織心理学	2	企業の人事担当者を外部講師として招聘し、人事評価や人的資源管理について講演をしていただく予定である。	○		
専門演習1	2	社会福祉士として施設での勤務経験を踏まえ授業を展開する。これまでの研究活動から、近年の高齢化問題に関する授業を展開する。	○	○	○
専門演習1	2	ソーシャルワーカーとしての実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的な内容を含めて授業を展開します。実際にY県内全域で用いられている指標を用いた学習を行う。	○	○	○
専門演習1	2	高校の非常勤講師の経験を生かして、高校における教育問題も議論する	○	○	○
専門演習1	2	学芸員の実務経験を活用した指導を行う。	○	○	○
専門演習1	2	精神科病院における3年間のソーシャルワーカー（PSW）経験をふまえて、適宜ソーシャルワークの実践について講義を実施。	○	○	○
専門演習2	2	学芸員の実務経験を活用した指導を行う。	○	○	○
専門演習2	2	精神科病院における3年間のソーシャルワーカー（PSW）実務経験をふまえて、適宜ソーシャルワークの実践について講義を実施。	○	○	○
専門演習2	2	社会福祉士として施設での勤務経験を踏まえ授業を展開する。これまでの研究活動から、近年の高齢化問題に関する授業を展開する。	○	○	○
専門演習2	2	ソーシャルワーカーとしての実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的な内容を含めて授業を展開します。	○	○	○
専門演習3	2	高校非常勤講師の経験を生かして、学校の状況について説明を行う	○	○	○
専門演習3	2	学芸員の実務経験を活用した指導を行う。	○	○	○
専門演習3	2	精神科病院における3年間のソーシャルワーカー（PSW）経験をふまえて、適宜ソーシャルワークの実践について講義を実施。	○	○	○
専門演習3	2	ソーシャルワーカーとしての実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的な内容を含めて授業を展開します。	○	○	○
専門演習4	2	学芸員の実務経験を活用した指導を行う。	○	○	○
専門演習4	2	精神科病院における3年間のソーシャルワーカー（PSW）実務経験をふまえて、適宜ソーシャルワークの実践について講義を実施。	○	○	○
精神保健の課題と支援	2	精神保健福祉士としての勤務経験を踏まえ授業を展開する		○	
社会福祉援助技術総論	4	精神科病院における3年間のソーシャルワーカー（PSW）実務経験をふまえて、適宜ソーシャルワークの実践について講義を実施。		○	
社会福祉援助技術方法1	4	精神科病院における3年間のソーシャルワーカー（PSW）経験をふまえて、適宜ソーシャルワークの実践について講義を実施。		○	
社会福祉援助技術方法2	4	ソーシャルワーカーとしての実務経験（医療、障がい、貧困の各分野）を活かして、理論と実践を結びつけられるような講義を実施する。		○	
社会保障論	4	福祉行政での行政実務経験を踏まえた講義を行う。			
心理学的支援法	2	臨床心理士・公認心理師としての教員の実務経験を交えながら、現場での心理学的支援の実践を学びます。	○		
障害者・障害児心理学	2	担当教員の臨床心理士・公認心理師としての実務経験を交えながら、講義を展開する。	○		
社会・集団・家族心理学B	2	臨床心理士・公認心理師として臨床実務経験のある教員が講義する。	○	○	
心理演習	2	臨床心理士・公認心理師の資格を持った教員が担当し、自身の心理臨床経験に基づいて心理臨床実践につながる教育を行う。	○		
心理実習1	1	担当教員の臨床心理士・公認心理師としての実務経験を活かした教育を行います。	○		
社会科・公民科教育法A	2	40年近く中等教育の現場で生徒を主体とした社会科教育の実践と、研究開発学校の管理職（中高副校長）として学校運営のみならず研究開発にも取り組んできました。こうした経験を活かして、課題（問い）を中心とした教科指導の理論と実践について具体的な課題を挙げながら教科指導の授業を行う。また、学校安全管理の視点と法令を遵守した生徒指導の重要性について教科指導の体験を基に指導を行う。			
社会科・地理歴史科教育法A	2	40年近く中等教育の現場で生徒を主体とした社会科教育の実践と、研究開発学校の管理職（中高副校長）として学校運営のみならず研究開発にも取り組んできました。こうした経験を活かして、課題（問い）を中心とした教科指導の理論と実践について具体的な課題を挙げながら教科指導の授業を行う。また、学校安全管理の視点と法令を遵守した生徒指導の重要性について教科指導の体験を基に指導を行う。	○	○	○
相談援助演習1	2	社会福祉士を取得した方々への研修も実施しており、実践を踏まえた講義内容にする。		○	
相談援助演習3	2	本科目は社会福祉士国家試験受験資格課程のための必修科目であり、厚労省規定により、「教員要件」が厳格に規定されている。担当教員は全員、原則的にソーシャルワーカーとしての実務経験を有しているため、適宜それをふまえた講義・説明を行う。		○	
相談援助演習4	2	社会福祉士として施設での勤務経験を踏まえ授業を展開する。		○	
相談援助演習5	2	社会福祉士として施設での勤務経験を踏まえ授業を展開する。		○	
相談援助実習1	6	本科目は「社会福祉士国家試験受験資格課程」科目であり、厚労省の法令において、「教員要件」が厳格に規定されている。その要件をふまえて、本科目担当教員は全員原則としてソーシャルワーカーとしての実務経験を有しており、実習中の巡回指導時、適宜そのことをふまえた指導を行う。			
相談援助実習2	1	本科目は「社会福祉士国家試験受験資格課程」科目であり、厚労省の法令において、「教員要件」が厳格に規定されている。その要件をふまえて、本科目担当教員は全員原則としてソーシャルワーカーとしての実務経験を有しており、実習中の巡回指導時、適宜そのことをふまえた指導を行う。		○	
相談援助実習指導1	2	本科目は「社会福祉士国家試験受験資格課程」科目であり、厚労省の法令において、「教員要件」が厳格に規定されている。その要件をふまえて、本科目担当教員は全員ソーシャルワーカーとしての実践経験を有しており、適宜、その経験をふまえた講義を行う。		○	
相談援助実習指導2	4	本科目は「社会福祉士国家試験受験資格課程」科目であり、厚労省の法令において、「教員要件」が厳格に規定されている。その要件をふまえて、本科目担当教員は原則的に全員ソーシャルワーカーとしての実務経験を有しており、適宜、その経験をふまえた講義を行う。		○	
卒業論文	8	精神科病院における3年間のソーシャルワーカー（PSW）経験をふまえて、適宜ソーシャルワークの実践について講義を実施。	○	○	○

実務経験のある教員による授業科目（人文社会学部）

科目名	単位数	実務経験を活かした教育の取組	心理	現代	国際
スクール(学校)ソーシャルワーク演習	1	ソーシャルワーカーとしての実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的な内容を含めて授業を展開します。		○	
スクール(学校)ソーシャルワーク実習指導	1	スクールソーシャルワーカーとしての実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的な内容を含めて授業を展開します。		○	
スクール(学校)ソーシャルワーク実習	3	名古屋市教育委員会における研修講師等の経験を活かして取り組んでいきます。		○	
地域福祉論	2	本講義は、CSW（コミュニティソーシャルワーカー）の実務経験等を有する教員が、その実務経験を生かして、コミュニティワークや地域福祉を取り巻く概況、最近の政策動向等を講義する科目である。		○	
知的財産法	2	知的財産の実務家である弁理士が講義をします。		○	
都市政策論	2	5人の講師は、それぞれ以下のような名古屋市での豊富な実務経験を活かして講義します。 伊藤－法規審査・法制事務、地方公務員制度、議会事務局、教育長、市博物館長など 佐藤－高齢者等の社会福祉、公衆衛生、社会福祉関係の財務、こども青少年局長、市社会福祉協議会役員など 須網－公害対策、気候変動や生物多様性、ごみ減量と廃棄物など環境行政全体の総括、環境基本計画、環境アセスメント、市施策事業の総合調整など 宮村－地方公務員制度、人材育成、区長経験、市民経済局長、上下水道局長、市信用保証協会会長など 矢野－法規審査・法制事務、総合計画、廃棄物・環境管理施策、区長経験、名古屋国際センター役員（国際化・多文化共生）など		○	
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	40年近く中等教育の現場で研究開発学校の管理職（中高副校長・進路指導主事・研究主任など）として学校運営のみならず研究開発にも取り組んできた。学級担任としての経験も豊富で、生徒が主体的に参加する月日経営を行ってきた。また、研究開発では特に「総合的な学習の時間」の研究開発に研究主任として取り組んだ。こうした経験を活かして、特別活動論・総合的な学習の時間の指導法に実体験を基に指導を行う。	○	○	○

【専門教育科目】

全学共通科目	0	0	0
学部等共通科目	52	52	52
専門科目	38	62	5
単位数合計	90	114	57

【教養教育科目】

全学共通科目	24	24	24
学部等共通科目	31	31	31
専門科目	0	0	0
単位数合計	55	55	55

【合計】

全学共通科目	24	24	24
学部等共通科目	83	83	83
専門科目	38	62	5
単位数合計	145	169	112